

Special Edition  
 特集◎第27回霧島国際音楽祭 2006  
 霧島  
 9  
 広報きりしま  
 SEPTEMBER.2006 VOL.18



8月21日 午後6時53分 鹿児島空港内

Kirishima City Public Relations, Japan  
2006.9 VOL.18

霧島  
広報きりしま



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 Ⅱ/0995-45-5111(代)  
 ホームページ/URL <http://www.city.kirishima.jp> ■メール/〒0995-64-0934 ■印刷/南国分新报社印刷  
 ■編集/広報広聴課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934

RE100

PRINTED WITH SOY INK

◎今月の表紙



**航** 空機が迫りマーシャラー（航空機誘導員）が誘導する光景は圧巻。その際の1コマ。国際空港と離島を結ぶ地方路線を併せ持つ鹿児島空港は年600万人近い乗降客が利用し大中小の航空機が年間3万回を超える発着を繰り返す。今回は大型機とマーシャラーのコラボに挑戦したい。

【撮影データ】デジタルカメラ レンズ28～300mm  
 F/3.5～5.6 ISO800 1/180 F5.6

Editor's

「すごいものだったんだ!」霧島国際音楽祭取材する中で、私たちの身近にあった音楽祭は世界にも誇れるものだと思えて知ることができました。身近にありすぎて気付いていないことってありますよね。来年はゆっくり聴きに行ってみようと思います。皆さんはどうですか。(あ)

夕立を見て先輩が「サダッが来た」と一言。それを聞いた隣の課の後輩が「サダッ何?」。みんなが「サダッ知らないの」と聞くと「...」。実は私も社会人になって初めて「サダッ」という言葉を知りビックリしました。方言って難しいですね。ところでなんで「夕立」が「サダッ」??(み)

9月はまだ暑さは厳しいですが、それでもどこどなく夏の中にも少しずつ秋の気配を感じるようになりました。例年9月は台風の多い月です。農家にとっては水稲や果樹、野菜などの被害がでないか心配などところではないでしょうか。このまま実りの秋を迎えたいですね。(い)

良くできていた。息子の夏休みの工作。飛行機だ。材料は発泡スチロールで設計図を書き紙やすりで削り形を整え色を塗る。本人も満足の出来だったらしい。出校日、学校へ持って行き友達に言われた「作るの貯金箱だよ」そのまま持って帰ってきたことは言うまでもない。(た)

◎人口/128,193人(+135)  
 男性/61,955人(+101) 女性/66,238人(+34)  
 出生115人/死亡94人 転入475人/転出361人  
 ◎世帯数/56,158世帯(+93)  
 (平成18年8月1日現在)

俳優の石坂浩二氏の語りや音楽で構成された「霧島の旅」の一枚の旅

# 霧島国際音楽祭 2006

## DOCUMENT



①高千穂小学校金管バンドを指導 ②NHK交響楽団ソロ首席奏者の店村氏 ③上野原細文の森でのロビーコンサート ④第1回目から音楽祭に参加している田中氏 ⑤生の音色に聴き入る来場者 ⑥休む暇もなく練習に励む受講生 ⑦講師と同じ舞台上で演奏する国外からの受講生 ⑧講師と受講生で編成されたオーケストラ ⑨国際舞台上で活躍するフルート奏者、エミリー・バイノンさん ⑩受講生の指導をする名誉音楽監督ボッセ氏 ⑪熱心な指導が行われる講習会



3 Kirishima City Public Relations 2006.9 Japan

The 27th Kirishima International Music Festival 2006



みやまコンセル (主ホール)

## 国内外の優れた講師による若い音楽家の育成と 地域における音楽文化の振興という 2つの基本理念を掲げた霧島国際音楽祭が 今年もこの霧島の地で開催されました。

霧島国際音楽祭は1980年に  
ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の  
首席コンサートマスターだった  
ゲルハルト・ボッセ氏の提唱によって創設されました。  
以来、毎年夏に開催されてきた音楽祭も  
今年で27回目を迎え  
盛況のうちに幕を下ろしました。

長い歴史を刻んできた霧島国際音楽祭。  
これまで多くの優秀な音楽家を輩出し  
音楽文化の発展に貢献してきました。  
音楽関係者の中ではこの音楽祭を  
知らない人はいないといわれるほど。  
首都圏から遠く離れたこの場所で  
世界に誇れる音楽祭にまで発展できたのはなぜか。  
その音楽祭の魅力に迫ります。

夏に開かれる音楽祭は日本全国で約50  
件にもぼります。その中でも私たちの  
まちで開催されている「霧島国際音楽祭」  
は、群馬県の「草津夏期国際音楽フェス  
ティバル」と共に最も歴史が古く、日  
本音楽祭の草分け的存在です。  
今年7月21日から8月6日までの17  
日間、みやまコンセルを中心に開催さ  
れ、国際的ソプラノ歌手アンナ・トモワ  
シントウや、第10回シヨパン国際ピア  
ノコンクールで優勝したダン・タイ・ソ  
ンなど一流の音楽家による質の高い演奏  
会が繰り広げられました。  
また、その音楽家から指導を受けられ  
るまたとない機会と評判を呼んでいる講  
習会の受講生は、国内外から過去最高の  
155人が参加しました。  
このほかロビーコンサートやデイサー  
ビスへの訪問、地元の子どもたちへの音  
楽指導など、気軽に音楽に触れ合う場  
にもなりました。  
この霧島国際音楽祭は、さまざまな立  
場でも多くの人が支えています。その支え  
があるからこそ世界に誇れる音楽祭に成  
長できたのです。

霧島国際音楽祭、みやまコンセールは  
ともに地域の宝です。  
私たちには大切に育てていく義務があります。



ほん だ たけ ろう  
**本田 武郎**さん  
みやまコンセール前副館長

音響設計はどんなに有名な設計者でも必ずしも成功するものではありません。しかし、みやまコンセールの音響設計は神戸大学安藤四一名誉教授の長年の研究成果を駆使してホール隅々まで同じ音質で行き渡るよう計算しつくされており、世界有数の音響の良さを持っています。国内外の一流の音楽家がこのホールで演奏したいと言い、国外の音響学者が視察に訪れたことも。霧島国際音楽祭に常連の著名音楽家が多い理由の一つでしょう。

Takeru Honda

霧島での経験は私の宝物。  
素敵な音楽家になって  
いつかこの霧島に戻ってきたい。



あらい あや の  
**荒井 章乃**さん  
受講生(楽器:ヴァイオリン) 桐朋学園大学

霧島国際音楽祭が大好きで、今年で4回目の参加になります。素晴らしい先生方にいろいろなことを教えていただいているのですが、学んだことは将来教える立場になって伝えていきたいと思っています。また、ここで出会った仲間は同じ思いを抱いているような気がして特別な存在です。友の会の皆さんにも、とても感謝しています。霧島に来たとき「お帰りなさい」と迎えてくれました。今は大好きな音楽を学べるのが幸せです。来年もぜひ受講したいです。

Avano Arai

文化は交流人口を増やす観光資源。  
90年の歴史をもつザルツブルグの  
音楽祭になりうるのが霧島国際音楽祭。



こぎ けい すけ  
**古木 圭介**さん  
㈱グローバルユースビューロー専務取締役/霧島国際音楽祭鹿兒島友の会事務局長

音楽祭が始まる3年前に親友だった野村教授とザルツブルグ音楽祭に行ったとき、人口14万人のまちに25万人が訪れ、しかもリピーターが多いことに驚きました。霧島観光の目玉にならないかと考え、教授と「霧島で音楽祭を開催できないか」と盛り上がり、父が経営するユースホステルを会場に第1回目を開きました。文化は地元がその価値を認識し、盛り上げないと育ちません。霧島国際音楽祭という文化をもっと磨き上げてほしいですね。

Keisuke Kogi

日本の音楽界で霧島国際音楽祭を  
経験していない人はほとんどいません。  
それほど実りの多い音楽祭。



たなか まさ ひろ  
**田中 雅弘**さん  
講師(チェロ)/東京都交響楽団首席

この音楽祭への参加を希望する受講生は審査で選ばれるので、技術レベルの高い受講生が集まります。ここでは音楽家としてさらに必要なことを講師の背中を見て学びます。日本各地に音楽祭はありますが、講師陣にとっても霧島国際音楽祭は研さんする場であり、この音楽祭を中心に1年のスケジュールが回っているといっているほど特別な場所です。私は受講生の時から25回も参加しています。今では自分のふるさとみたいですよ。

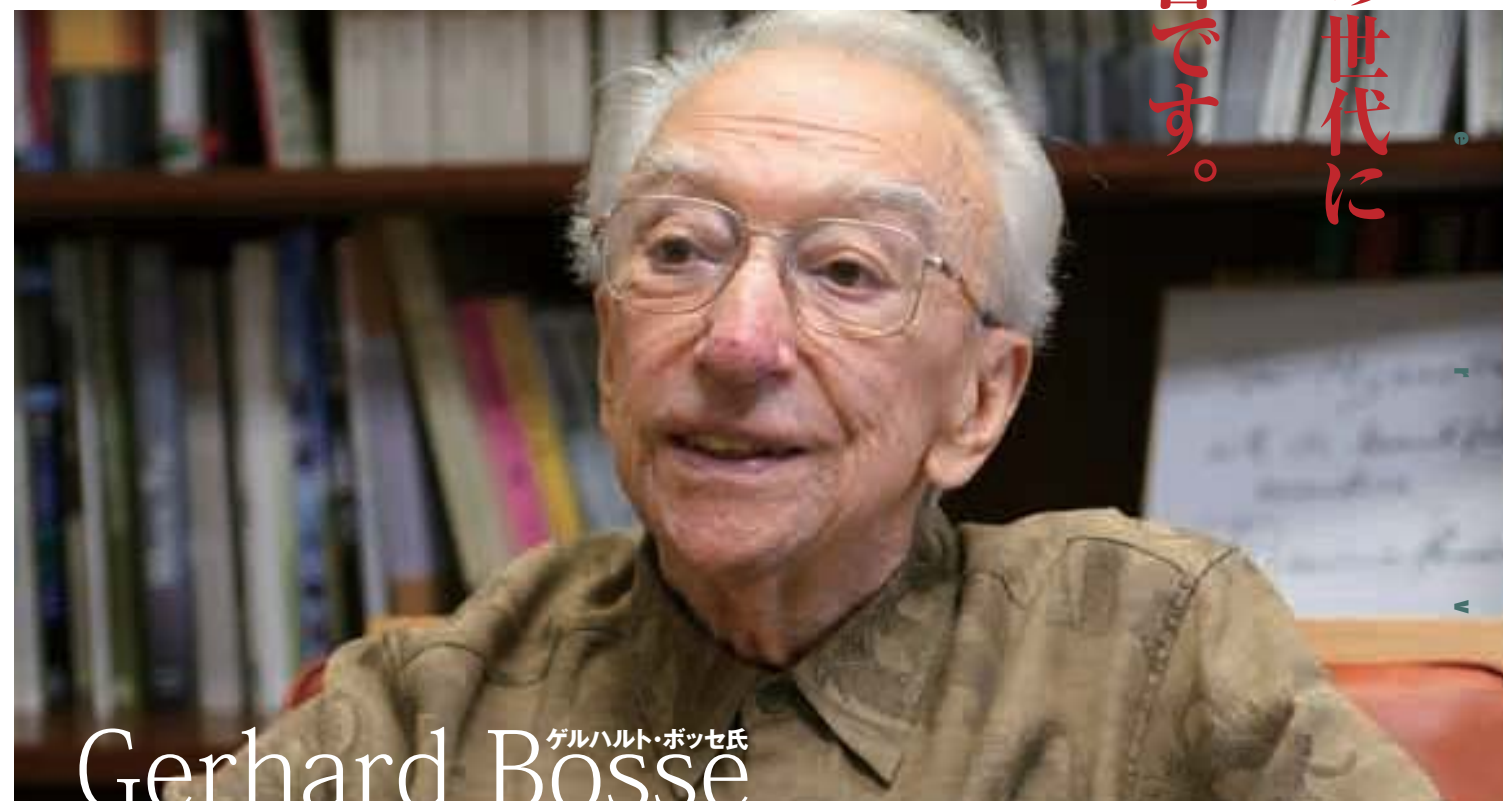
Masahiro Tanaka

経験や伝統を次の世代に  
伝えていくことは  
人間の大きな役目です。

霧島国際音楽祭の魅力

きっかけは1975年、鹿兒島短期大学の野村三郎教授に「ぜひ学生たちを指導してほしい」と依頼されたことでした。霧島に案内され、一目で自然に魅せられたボッセ氏。さらに鹿兒島の音楽文化を発展させたいという野村教授の思いを受け、この霧島で演奏会と若手音楽家を育成する2本柱の音楽祭を始めることになりました。

「今の音楽祭の発展を思うと、その時アイデアが浮かんだことは幸運でした。豊かな自然に恵まれた霧島の静かな環境の中で、勉強や演奏会に没頭し、気分転換もできることは霧島国際音楽祭の大きな魅力です」  
その提案から5年後、地元の音楽愛好家の協力で、霧島高原ユースホステルを会場に第1回目を開催することができましたが、演奏会場として万全ではありませんでした。よい絵画にはよい額縁が必要のように、よい音楽にはよいホールが必要だと訴え続け、94年には待望の「み



ゲルハルト・ボッセ氏  
**Gerhard Bosse**

今後への期待

「建築、音響、環境との調和、すべての面で世界トップクラスのホールが音楽祭に加わったことで、音楽家や受講生が研さんしたことを発表できる演奏環境が整ったと思います。このみやまコンセールが音楽祭の魅力を増加させています」  
参加した受講生から世界の名だたるコンクールに入賞し、各国のオーケストラに入団した人も少なくありません。  
「国内外のオーケストラで『以前、霧島で学びました』と声をかけてくれる人が多いことは創設者として何よりの喜びです。受講生同士が刺激し合い、音楽家としての資質を備えていくという状況が今後も続いてほしいと願っています」  
「霧島市の皆さんにはクラシック音楽を日々の生活の中で楽しみ、親しみを持ってほしいと願っています。本当の音楽のおもしろさは直接聴いて初めてわかります。一人でも多くの方にこのだごみを味わってほしいですね」

profile

ゲルハルト・ボッセ/1922年ドイツのライプツィヒ近郊のヴェルツェン生まれ。5歳から父にヴァイオリンを習う。国立ライプツィヒ音楽院在学中からゲヴァントハウス管弦楽団のメンバーとなる。55年からは同管弦楽団の第1ヴァイオリン奏者に就任し、87年に退任。97年から同管弦楽団を指揮した。98年ドイツ政府より功労十字勲章(一等)を受章。61年に初来日。80年に霧島国際音楽祭を創設、音楽監督として指導にあたる一方新日本フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者も務めた。94年から東京芸大客員教授も務めた。97年に県民表彰を受賞。通訳として支えている美智子夫人と共に音楽界に貢献している。

人と人とのつながりが支えてきた音楽祭。  
そこから生まれる感動を  
来年夏、霧島で味わってください。



霧島国際音楽祭は人のつながりがきっかけとなり始まりました。当初ボッセ氏が提唱した基本理念は、今やゆるぎない伝統となり、情熱をもって音楽文化の発展にかかわる人々と、それを支えてきた心で支援したいという地元の人々が支えています。この原動力は音楽祭に関わる誰もがその価値を知り、この伝統を継承していきたいという強い思いによるものです。

音楽家、受講生、スタッフ、地元の人々が立場は違っても「いい音楽を聴衆に届けること。受講生にいいレッスンをを行うこと」を共通の目標として、一体となり取り組んでいます。この人と人とのつながりが霧島国際音楽祭の大きな魅力になっています。

霧島国際音楽祭は霧島市の誇りある文化であり、財産だといえます。私たちは世界に誇れる音楽祭（音楽文化）があることに誇りを持ち、大切に育み、次世代へと引き継いでいくべきではないでしょうか。まず足を運んでみることから始めてみませんか。そこにはきっと新たな感動があるはずです。



池田 政晴さん  
霧島国際音楽祭牧園友の会会長

第6目を迎えたころ、霧島での音楽祭の開催が危機的状況に陥ったとき、存続させるためにできた友の会でした。地元と音楽祭を結びつけようと思い、友の会女性スタッフの音楽祭を通じて自分も成長したいという思いと情熱があったから続けていくことができたと思います。今後の音楽祭には、敷居が高いと思われがちなクラシックに親しみを持ってもらうような企画がどんどん増えてほしいと思います。また友の会の活動も今後は霧島市全体に広げていきたいですね。



みやまの森のランチパーティー  
毎日ホテル住まいの音楽祭関係者を対象にした手作りランチのバイキング。期間中はほぼ毎日、7つの女性グループが交代で約160人に心のこもった料理を提供しています。「何を食べてもおいしい」と関係者に大絶賛され、音楽家からはボランティアに対する謝恩コンサートも開かれる。



ホームヴィジット  
受講生の練習用ピアノが足りないため、一般家庭のピアノを提供するボランティア。昨年からは、「うちに来てくれた受講生にはぜひ活躍してほしい」と願う豊田剛久（まさひさ）さんと、「ボランティアに感謝します。自分の家で練習しているように落ち着きますね」と話す受講生の中谷政文さん。



「食プロジェクト」の皆さんの手料理は音楽祭関係者に大好評



これまででの音楽祭の発展に欠かせないのが「霧島国際音楽祭友の会」です。音楽祭を進展させ、地域の活性化を図ろうと1985年に牧園、霧島に、翌年には鹿兒島に発足し、音楽祭を多くの人に知らせる活動や資金援助などを行っています。

このほか牧園友の会では、演奏会の受付やピアノ練習をする場の提供など、さまざまな形でサポートしています。その中で最も力を入れているのが食事に よるものであります。

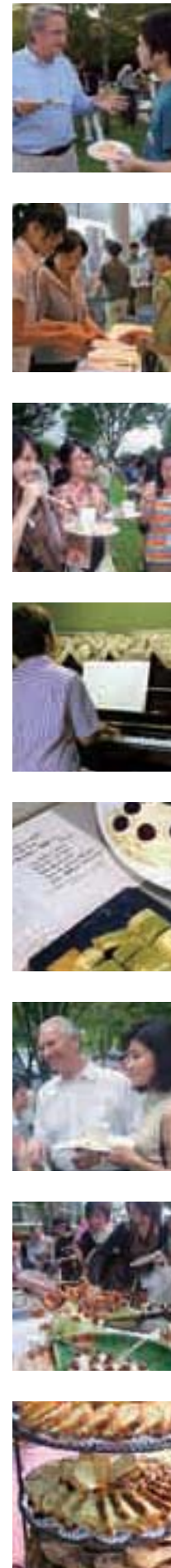
普段ふれあう機会のない著名な音楽家と地元との接点がないのはもったいないと考え、「風の中の交流会」というふれあいの場から始まりました。現在は演奏会後の「ビュッフェパーティー」に形を変え、ボランティア団体が腕によりをかけた料理を振る舞います。参加者からは「ほかの音楽祭では味わうことができない」とたいへん喜ばれています。

また期間中、音楽家たちの栄養バランスが偏りがちになることを心配し、ほぼ毎日、交代で手作りのランチバイキングサービスや休憩時間用のお菓子の提供をしています。

ボランティアに参加している「食プロジェクト」グループの皆さんは18年にもわたり、地元の食材を使った田舎の味を提供しています。最年長の川原ハツミさん(75)は大阪からUターンしてきて、地域と交わりたいという思いで友の会活動に参加しました。「今では音楽家の皆さんとも仲良くなり、「霧島にお帰りなさい」と声を掛けます。クラシックはよくわからなかつたけど、聴いてみると感動しましたね。身近な存在になりました」と笑顔で話してくれました。

相手の気持ちになった温かいもてなしは音楽祭の名物としてすっかり定着し、多くの音楽家や受講生が楽しみにしてやってくるほど。自分たちができることを継続して取り組む姿勢が音楽祭を育て、ひいては地域をも育ててきたといっても過言ではありません。

地元友の会の献身的な取り組みが  
音楽祭と地域を育ててきた



# Zoom up Kirishima きりしま / かわら版 !! POINT OF VIEW

Zoom up Kirishima

きりしま / かわら版 !!

KOKUBU KIRISHIMA MAKIZONO YOKOGAWA HAYATO MIZOBE FUKUYAMA

POINT OF VIEW



寄贈した卓球台で指導する小野さん

**FUKUYAMA**  
**卓球台を小学校へ  
寄贈し指導**  
8月19日、福山小学校を昭和26年に卒業し、福岡市で卓球センターを経営する小野貞男さん(71)が母校に卓球台、ボール、ネット一式を寄贈。また、集まった児童や保護者などに卓球の指導をしました。小野さんは募参りで帰郷したとき、体育館で遊ぶ子どもたちを見て「昔は外で練習をしていました。今は体育館があって環境に恵まれてます。子どもたちに卓球に親しみ楽しんでほしい」という小野さんは、3年続けて寄贈しています。同小4年の立和田あかりさんは「わかりやすく指導をしてもらい、とても楽しかった」と話していました。



投網でボラの子を狙う

**KOKUBU**  
**はんぎり出しで  
精進落とし**  
お盆の明けた8月16日、国分広瀬の潮遊地でははんぎり出しがありました。  
はんぎり出しは精進落としの伝統行事で「はんぎり」とは馬の飼料桶のこと、「半切り」という底の浅い桶を使用したことからはんぎり出しといわれています。  
はんぎり出しは7割の竹2本の先にはんぎり、その後ろに人が乗れるような足場板が取り付けられています。乗り手はバランスを取りながら巧みに投網を打ちます。  
今年も9隻のはんぎりが出てエッナ(ボラの子)を取り、その場でぶつ切りにして酢味噌で味わっていました。



燃え盛るいかだが中津川を下る

**MAKIZONO**  
**先祖の霊送る  
伝統の火流し**  
犬飼滝の上流の牧園町下中津川で15日夜、約300年前から伝わる先祖の霊を送る伝統の「火流し」がありました。川沿いには約130個のちようちんと竹灯ろうがともしり地元の住民らが大きな送り火を静かに見送りました。火流しはモウソウ竹で4割四方のいかだを組み、その上に七夕飾りやスギ、薪などを燃やして天降川支流の中津川を下り、数えて14歳の頭(二才(カシタニセ))を中心に行う習わしです。  
この日は帰省した若者ら約10人が竹をはじかせ激しく燃えるいかだを約400メートル流しました。



ぶどう狩りを楽しむ来園者

**MIZOBE**  
**あま〜い  
果実ができました**  
ぶどうと梨が有名な溝辺地区。8月中旬から収穫の最盛期を迎え、果樹生産者は大忙しの様子です。  
溝辺地区では販売もしますがぶどう狩りや梨狩りを体験できる体験農園も人気で、この時期には県内外から多くの来園者が訪れます。  
蒲生町からぶどう狩りに訪れていた塚田京子さんは「このぶどうはとても甘くて毎年来ています。今年も楽しみにしていました」と話していました。  
溝辺地区では場所によって違いますが、ぶどう狩りが9月下旬、梨狩りが10月下旬ごろまで楽しむことができます。



楽しそうに田植えをする子どもたち

**KIRISHIMA**  
**わんぱく短期  
山村留学体験**  
7月22日〜25日の3泊4日の日程で永水小学校で山村留学がありました。  
霧島の豊かな自然の中で親元を離れ(留学生26人)、地域の人や自然とのふれあい、体験を通して思いやりや自立心を養い逞しい体と心を育て同小山村留学里親制度の理解を深める目的で実施されました。今回は集中豪雨により登山やキャンプが一部変更となりましたが、田んぼでの根切りやウナギ、アユなどのつかみ取りなどがあり、子どもたちの歓声がこだましました。受け入れ家族との4日間も交流が深まり、貴重な夏休みの1ページになったようです。



展示会を楽しむ来場者

**YOKOGAWA**  
**展示会で  
駅を活性化**  
大隅横川駅で、8月7日から11日にかけて写真やパッチワーク、押し花などの展示会が開かれました。  
展示された作品は、横川地区公民館講座生の作品120点。駅舎内には、講座生の見事な作品が並べられ、訪れた人の目を惹かせていました。  
今回の展示会は国の登録有形文化財の答申が出されている大隅横川駅のPRと駅舎を活用することで活性化を図ることを目的に開かれました。  
講座生は「駅の活性化にもなるし、自分たちの作品発表の場として今後も展示会を開きたい」と話していました。



ナイターの光の下はだしてゲームを楽しむ

**HAYATO**  
**快感足の裏は  
第2の心臓**  
時折り小雨がぱらつく中、第26回健康づくりはだしのナイター運動会が8月25日、隼人運動場でありました。  
第2の心臓といわれる足の裏を刺激し健康になろうと隼人町地域女性団体連絡協議会が始め、平成8年度からは町内の各種女性団体も参加しています。この日は商工会、食生活改善グループなど6団体、約300人が、お手玉入れやお尻で風船を割る「けつあつ測定」など楽しくゲームをしていました。隼人地区生活研究グループの宮原律子さんは「毎年参加しています。はだしは気持ちよくて楽しいです」と話してくれました。

図書館へ行こう

**外** 交敗北(重村智計)民生委員のための地域福祉活動Q&A(小林雅彦・原田正樹)養老孟司のデジタル昆虫図鑑(養老孟司)週末は「夫唱婦随」の宝探し(辰尾良二)野菜スイーツ(カノウユミコ)レモンブック(北村光世)愛犬の悩みが解消する魔法のなで方(松江香子)森林の再生に向けて(国民森林会議)南の思想(フランコ・カッサーノ)教師力(読売新聞教育取材班)カメラを食べたゾウ(大石容子)ピーマンマンのいただきますっていえるかな(中村景児)かいじゅうじまのなつやすみ(早川純子)いのちはプレゼント(わたなべえいこ)人をきれいにしたい(しごと応援団)おばけ美術館へい

らっしゃい(柏葉幸子)他  
**【国分図書館】**  
 説占領下の東京(佐藤洋二)ファールブル昆虫記の旅(奥本大三郎・今森光彦)みんなで遊べる手話ゲームブック(新沢としひこ)がんこな肩こり(信原克哉)無言歌(赤川次郎)まほろ駅前多田便利軒(三浦しをん)はじめてのくさばなあそび(グループ・コロンパス)雲をみようよ(トミー・デオラ)らくご長屋(岡本和明)他  
**【隼人図書館】**

「読書で心豊かなひとづくりを」  
 今月の新刊。

**氷の人形(アイス・ドール)**  
 森村 誠一 著  
 マドンナ教師を陵辱した番長の下井を地中に埋めた3人の中学生。社会的地位のある男に成長した彼らの前に、恩師が妖艶な女となって現れたとき、冷たい殺意が連鎖する…。利権に群がる男たちの欲望と美貌の女の復讐劇を描く。

**恋愛は革命**  
 渡辺 淳一 著  
 会社でふんぞり返っているだけでは、凝り固まった価値観から抜け出せない。中年の男性に恋愛の素晴らしさを説く表題作から熟年離婚の深層心理まで、目からウロコの名エッセイ50本を収録。「週刊新潮」連載を単行本化。

**デビルズドリーム**  
 長谷川 集平 作  
 パソコンの秘密の掲示板「デビルズドリーム」は、アキとトモちゃんだけの秘密の場所。ふだん学校では言えない本音も言えたのだが…。両親の離婚で母と長崎へやってきたアキの心の成長を、長崎の歴史に触れながら描く。

**虎の弟子**  
 ローレンス イェップ 著  
 選ばれし者により、何千年も守られてきたフェニックスのたまご。しかし平穏な日々も、その魔力を求め動き始めた伝説の妖怪どもによって終わりを告げる！古代中国の伝説からとびだした、奇想天外オリエンタルファンタジー。

霧島市立図書館に  
 おいでください。

霧島市7か所の図書館(室)で本が借りられます。

**国分図書館** / ☎64-0918  
 ① 9:30~21:00  
 ② 12月29日~1月3日  
 特別整理期間/6月中10日間

**隼人図書館** / ☎43-7574  
 ① 平日/10:00~19:00  
 土・日・祝日/9:00~17:00  
 ② 月曜日  
 12月29日~1月3日  
 特別整理期間/12月中10日以内

**溝辺図書館** / ☎58-3191  
 ① 8:30~19:00  
 ② 12月29日~1月3日

**横川図書館** / ☎72-1596  
 ① 9:00~17:00  
 ② 火曜日・祝日  
 12月29日~1月3日

**牧園図書館** / ☎78-3349  
 ① 8:30~19:00  
 ② 12月29日~1月3日

**霧島図書館** / ☎57-0316  
 ① 月・水・金/8:30~17:00  
 火・木・土/8:30~20:00  
 ② 日曜日・祝日  
 12月29日~1月3日

**福山図書館** / ☎56-2026  
 ① 8:30~17:00  
 ② 土・日曜日・祝日  
 12月29日~1月3日

【①開館時間 ②休館日】



学校へ行こう

韓国の文化を実際に体験

韓国文化にふれ、日韓の友好を目指す学校

陵南小学校  
 日韓交流

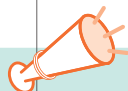


韓国のことを勉強している6年生

溝辺地区にある陵南小学校は、明治11年の創立で今年128年を迎えます。児童数は299人(男158人、女141人)で鹿兒島空港に一番近い場所にある学校です。  
 同小では特色ある学校づくりを目指して、「花づくりを通して人づくり」「読書活動の推進」「総合的な学習の時間の充実」の3つに力を入れています。特に、「花づくりを通して人づくり」では年2回、学校園・学級園・教材園に種から育てた花苗や植物を植え、1人1鉢などの運動を進め、その成果が認められ、過去にサンライフ南日本花壇コンクールで5回最優秀賞を受賞。その他にも学校花壇コンクールや緑化コンクールで優秀賞を受賞するなど高い評価を受けています。

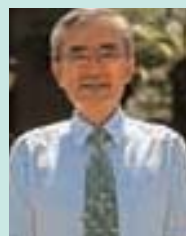
国際交流で成長

この学校の魅力の1つに、国際交流の推進があります。「日本が一番近い国の一つである韓国のことを知ろう」と6年生は1学期の総合的な学習の時間(35時間)を利用して韓国のことについて学習しています。また、平成3年から韓国の釜山にある培英初等学校と溝辺町が



V O I C E

◎陵南小学校  
 西久保 守校長



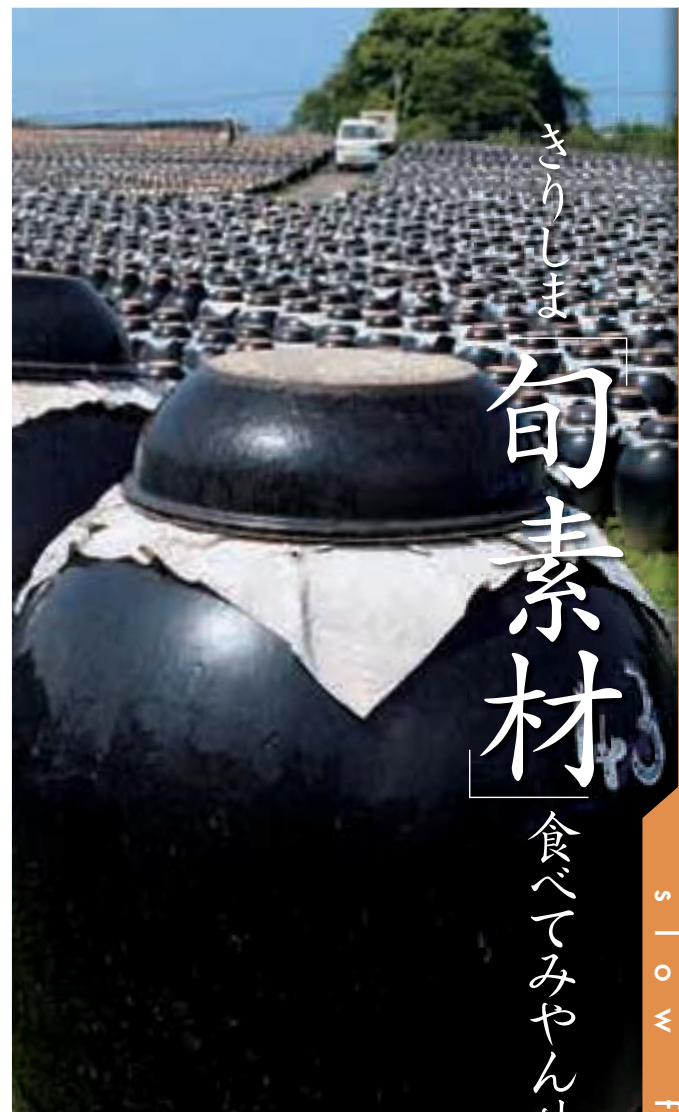
陵南小では「心豊かでたくましく、自ら学び・考え、実践する子どもの育成」のためにいろいろな試みを行っています。その一つが、「日韓親善子供大使友好の翼」への参加です。世界にはたくさんの文化・伝統・考え方があり、それぞれの国で共通点があれば違うことも。そのことを学び、体験することで互いを認め合い高め合うことができます。異文化を知ること、自国の文化のすばらしさにも気づきます。子どもたちには他国の文化同様、日本文化のすばらしさを改めて感じ好きになってほしいです。

交流を開始し、交流の一環として、同小の子もたちなどが「日韓親善子供大使」として培英初等学校の訪問や韓国からの訪問団の受け入れをするなど交流を深めています。  
 今年も、8月1日から4日まで培英初等学校の子どもたち10人が溝辺町を訪問。2日には陵南小を訪れ、同小の子どもたちとレクリエーションなどをして楽しみました。同小6年の末重杏佳さんは「これからも交流を続け、韓国のことをもっと知りたいです」と話してくれました。

きりしま

# 旬素材

食べてみよんせ。



錦江湾の湾奥にある福山地区。南北に伸びる約8kmの海岸に沿ってかめ壺が並び、仕込み時期の春と秋には、甘酸っぱい香りが辺りに漂います。

四季温暖で、日中寒暖の差が少ないという恵まれた気候のこの土地で、自然の力による昔ながらの黒酢造りが行われています。

福山での黒酢造りの歴史は古く、江戸時代後期の1800年ごろにさかのぼります。江戸の藩政時代から鹿兒島、宮崎へ産物が流れていく中継地としてにぎわいを見せ、重要な商業地であった福山は、黒酢の原料となる良質な米ときれいな湧き水、そして温暖な気候に恵まれており、黒酢造りには最適な町でした。この環境に着目した商人の竹之下松兵衛により黒酢造りが始められたとされています。今も当時と変わらぬ製

法で引き継がれています。

江戸時代から日本料理には欠かせない調味料として愛用されてきた酢。まろやかな味覚とすぐれた殺菌力、そして豊富なアミノ酸は「酢は体に良い」という食生活の知恵を私たちに伝えてきました。

今回、この黒酢を使った酢豚を作ってくれた福山食生活改善推進員の大平栄子さんには、「黒酢は疲労回復や食欲増進に大きな効果を発揮します。また血液をサラサラにするなど健康増進には最適な食材ですね。黒酢をもっと食卓に活用してみたいかがでしようか」と話してくれました。

◎問い合わせ先 食生活改善推進協議会 (福山地区) 事務局 ☎(55) 2111 鹿兒島県天然つばくり米酢協議会事務局 ☎099 (258) 1777

## 壺造り黒酢と地元の野菜を使って美容・健康・ダイエット

酢は人が作りだした最初の調味料だといわれています。古来、その役目は味をよくするためのものではなく、葉餅、栄養、消毒、殺菌の役割をかねていました。天然の醸造酢は体の脂肪を燃やそうとする働きや、疲れのもととなる焦性ブドウ酸を解消する働きがあります。

### 黒酢酢豚 HOW TO COOK!



**【作り方】**  
①野菜を切る。肉を切り下味をつける(20分おく)。たまねぎ以外の野菜を下ゆです。豚肉に片栗粉をつけ油で揚げる。



②油にニンニクで香りをつけてから野菜を炒める。合わせ調味料②を入れ2分ほど煮て③を入れる。パイナップルと豚肉を入れてからめる。

**【材料】(4人分)**  
黒豚もも肉…300g・下味(濃口しょうゆ…大さじ2/3・酒…大さじ2/3・しょうが汁小さじ1)・片栗粉…適量・玉ねぎ…1個(180g)・しいたけ…3枚・にんじん…1/2本(100g)・ゆでたけのこ…120g・ピーマン…2個・パイン缶…2枚・サラダ油…大さじ3~4・にんにく…1片

**合わせ調味料②**  
砂糖…大さじ3・濃口しょうゆ…大さじ2・黒酢…大さじ2~3・塩…小さじ1/2・パイン缶詰汁…1/2カップ・水…大さじ1

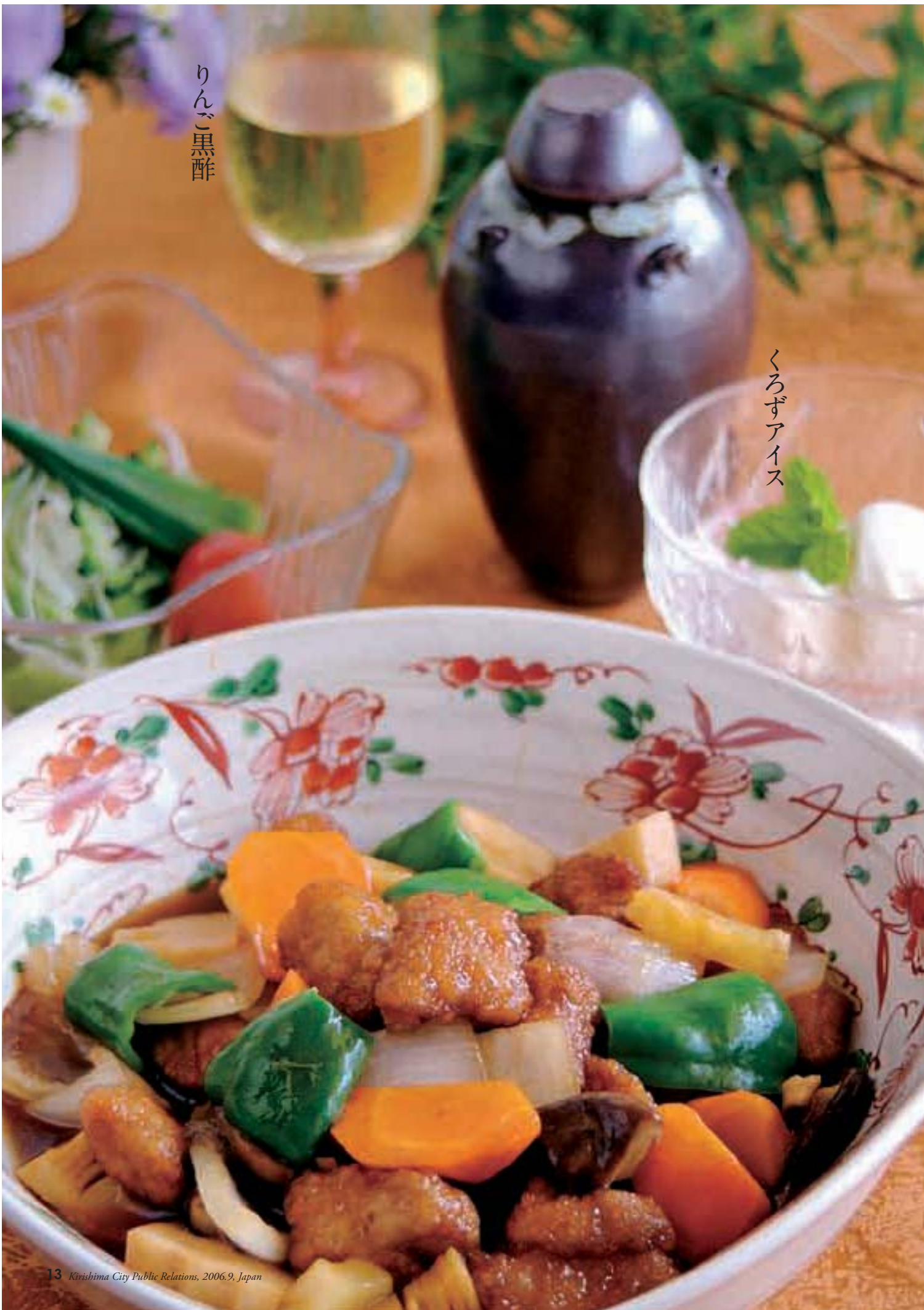
**合わせ調味料③**  
片栗粉…大さじ1・水…大さじ1

◎食生活改善推進協議会 (福山地区) 代表 大平 栄子さん



りんご黒酢

くろずアイス



# 人の風景

THE SCENE

## 霧島に生きる

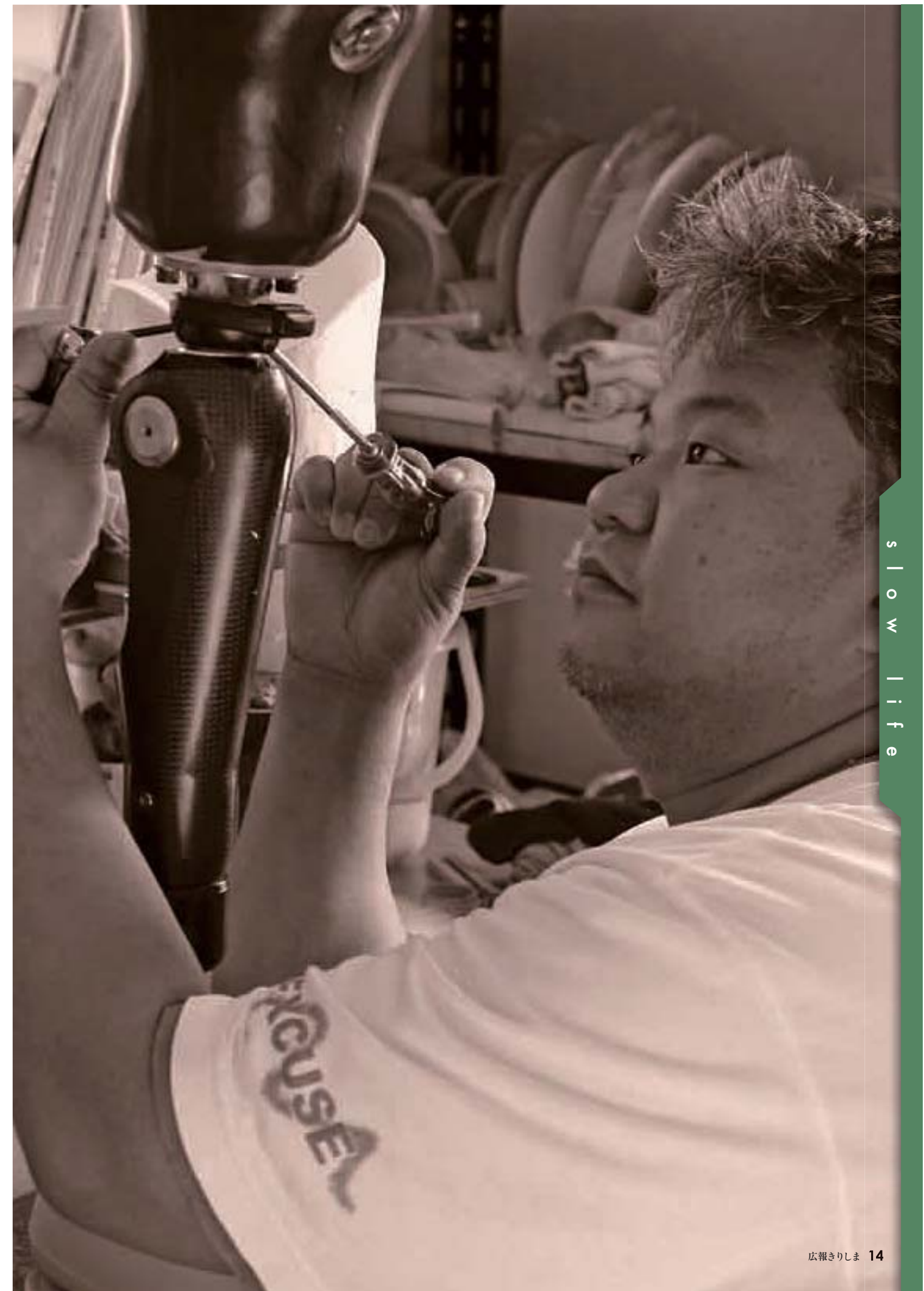
「使う人に合った義足を作りたい」と話す日高浩二さん。溝辺町竹子でオーダーメイドの義足を作っています。平成14年には障害者の技能を競う大会で日本一になり、翌年には世界大会に日本代表として出場するなどその技術は高く評価されています。日高さんの義足はなぜ使いやすいのか。その理由のひとつが日高さんの右足にあります。実は日高さんも義足を履いています。そのため、義足を使う人の気持ちに分かり、使う人の気持ちになった工夫がされているからです。

右足の義足は高校2年のとき、病気が原因で右足を切断したため。「当時は、とにかく病気で足が痛くて寝ることもできなかった。だから、切断すると聞かされたとき辛さや怖さよりもこの痛みから開放される、ただ、それだけでした」

そんな日高さんが義足を作ろうと思ったのは高校3年のとき。「自分の義足を作ってみよう」と1年間、義足作りについて勉強し、その後、義足を作る会社に入社。平成13年溝辺町に日高義肢を開業しました。

日高さんの一番の楽しみは剣道。5年前長男が溝辺剣道スポーツ少年団へ入団。子どもの練習を見に行くにつれ中学生のころ剣道をしていた懐かしさがよみがえり剣道を始めました。義足のため瞬発力などはありませんが、持ち前の頑張りや昨年、長男と受けた初段試験に見事合格。そんな日高さんの姿を見て5人の子ども全員が剣道をしている剣道一家です。

「私は子どもと剣道をすることができて幸せです。義足でも思いつきスポーツを楽しみ幸せな気分になれるような義足を作りたい」と話す日高さん。これからは自分が作った義足で子どもたちと剣道を楽しみます。



s l o w l i f e



## 私の作った義足で 幸せを感じてほしい

日高 浩二さん(41)  
義肢装具士

Profile

昭和39年9月13日生まれ、41歳。  
昭和59年身体障害者職業能力開発機構に入校、昭和60年義足関係の会社に入社、平成2年義肢装具士取得、平成8年1級技能士取得、平成13年日高義肢開業、平成14年全国障害者技能競技大会金賞厚生労働大臣賞受賞、平成15年第6回障害者技能競技世界大会出場、平成17年剣道初段取得



このページは第一線で活躍する専門家に寄稿していただきます。霧島市に何らかの形でご縁のある方々で、縁のあった「人」「自然」「文化」などを題材にシリーズでお届けします。読者の皆さんが霧島市のよさを再認識したり、新しい価値観を再発見できたりする紙面を目指します。地域づくりを創造する核の一つになれば幸いです。

第5回

## まちづくりを

## 文化の域まで

## たかめる

### 私

は戦後間もない昭和21年、隼人町小浜にある母の実家で生まれ、郷里を離れ40数年になります。子供のころ夏休みになると小浜海岸で真黒に日焼けして遊んだのが昨日のように思い起こされます。自転車のリムを矢にし

た竹製の水中銃を作り、素潜りでワタリガニや魚を捕って遊んだ記憶や、ヤマモモの木によじ登って服を真っ赤に染めながら、口っぱいにはおぼつて食べた確かな自然との繋がりが私の原風景として心に深く残っています。当時、隼人塚の近くの原営住宅に住み、



小浜海水浴場  
市内に二つある海水浴場の一つ。桜島が目の前に広がる景色のよい遠浅の海岸には家族連れなどの海水浴客が訪れる。

富隈小学校6年までの12年間で隼人で過ごしました。父が高校の美術教師をしており、霧島には露天風呂のあるバンガローに数泊するスケッチ旅行によくつれていってもらいました。当時のスケッチブックを見ると遠景の韓国岳や高千穂峰を背景に、手前の山麓の明るい日差しに映える緑が鮮やかに記憶の奥から蘇ります。

高校を卒業して東京の大学に進み、その後デザイン会社に就職。ミュージアムの展示企画や展示設計の仕事に従事して、日本各地のミュージアムづくりに36年間携わってきました。鹿児島県内でもいくつか手がけさせていただきましたが、特に「鹿児島県歴史資料センター黎明館」は、担当責任者として展示基本構想から工事完了まで、約11年間にわた

り関わる事ができたことは私の人生にとつて大きな財産になっています。また、霧島市内の「上野原縄文の森展示館」も私どもで担当させていただきました。

近年はミュージアムを中心にしたまちづくりにも参画させていただいています。地域全体をまるごとミュージアムとしてとらえるフランスで生まれたエコミュージアムの考え方を取り入れたまちづくりです。今までのミュージアムが建物の中に「もの」を集めて展示して見せるのに対して、エコミュージアムでは地域内に点在するさまざまな遺産（自然遺産・歴史遺産・文化遺産・産業遺産）を保存しながら周辺を含めて整備し、現地において見せるものです。これらの遺産は現存するものもありますが、人知れず埋もれてしまつて人々の記憶の中だけに残っているものも多くあります。顕在化していない人々の記憶に沈んでいるものも含めて発掘し新しい角度から光を当てて地域の宝に再生します。

### 展示がまちをつくる

### 人

々に共感や感動をしてもらうには、まちづくりに展示技術が欠かせないのです。展示の技術は、分かりやすくしかも楽しく伝える技術であり、まち全体を展示場として捉え、何をどのように見せるか、注意をうな

がす伝え方、見せ方という伝達技術が現在の地域でも不足しているように思います。地域に残る遺産を学際的にさまざまな角度から調査した情報をもとにして、展示シナリオをつくり展示計画が検討される必要があります。これらの地域の宝である「遺産」（嘉例川駅など）を展示するためには、その存在の周辺に見えない時間や、知の結集、さらには情熱といった形のないものが存在しており、それらを集め編み再編集することが展示シナリオづくりです。人々に何かを伝えたい場合、語りによるイメージづくりが重要な要素となります。一般的に言う私たちの経験や知識、思考の大部分は物語という形で提示されることによつてすんなりと理解できます。そこで、さまざまな地域の宝である事実を物語の「文脈」に取り入れ、感情的表現を盛り込むこと

が重要です。この感情によつて豊かになった文脈こそ多くの人々に共感・感動を生み出し地域の魅力が高まります。

近年、昭和文化をテーマにしたノスタルジーを刺激する博物館やまちづくり（豊後高田市）が増え、多くの入館者、来訪者を集めています。ノスタルジーに浸るとき、人は純粹で感動的な気持ちになり、強い絆として信頼関係を築きます。その作用をまちづくり展示の中に編み込んで作り、情感を高めていくこともリピーター力のある展示の一つになっています。展示の芸術性も重要です。どのように美しく感動をもつて見せられるか、すばらしいもの、美しいものを見たときは高い感動が起きます。そしてより深い理解へつながります。美しいといふことは重要なエデュケーション（学び）の一つです。いくら中身が良くても、美しい装いを



上野原縄文の森展示館  
丹青研究所が手がけた展示館。約1万年間続いた縄文時代の移り変わりや縄文時代の上野原に生きた人々の息吹を感じる。

## エッセー

## 地域

## まちづくり

文里見親幸

Saori Chikayuki

持ち合わせないものは文化的と言えませんが、町づくりを文化の域にまで高めることが重要だと考えます。技術的な面においては、その地域の特徴を活かしたまち全体のプランにおいて計画される演出方法の検討や、動線、解説、照明、色彩などの計画の技術をまちづくりの全体に活かしていくことが、展示がまちをつくるということとなります。

かな時代においては、多くの人がもつと自由により自己と人生の意義を追求するようになってきました。

した。また、豊かに生活を送る人の増加にとめない、地域という舞台の中で生活の意義を追求するようにもなってきました。自分のことを語る物語も、自分たちに語りかける物語も含め意義を追求したいと思う人が、各地で地域づくりに参画してきています。行政は裏方で支援し、住民が主役になって、外部の成功事例や外部のアドバイザーからの支援や助言を受けながら自分たちの手で進めることが最も重要な地域づくりになってきています。



さとみ ちかゆき 59歳 霧島市 隼人町生まれ 出身。  
丹青研究所取締役常務副所長、常磐大学大学院兼任教授。  
丹青研究所でミュージアム企画展示部門のデザインセンター長を経て、丹青研究所で文化施設づくり、地域づくりの調査、研究等を手がける。  
著書に「現代博物館論」共著、「エコミュージアムの理論と実践」共著などがある。  
隼人町の「南風の生活文化展」審査員を務めた。  
現在、農林水産省の田園空間博物館整備中央委員、日本展示学会理事、全国生涯学習まちづくり協会理事などを務める。

健康づくりのお手伝い

霧島市健康運動普及推進委員会

これまで国分・隼人・牧園地区で、地区公民館推薦者や広報募集での応募者を対象に養成され、また健康づくりウォーキングなどの参加者が組織へと発展してそれぞれ活動しておりますが、今年度、霧島市運動普及推進委員会として発足しました。健康寿命を延ばし生活の質の向上を実現させるために、市民に健康と運動の知識を普及し、日常生活の中に運動習慣を取り

運動普及推進委員会の活動内容

- ①基本健康診査結果報告会(対象65歳以上)での運動機能チェック。
②高齢者への運動普及活動(老人クラブやいきいきサロンなどでの運動指導)。
③健康増進大会(健康まつり)への参加。【11月12日(日)開催】
④転倒予防教室への参加。
⑤研修会への参加。
などの活動があります。
現在、隼人地区29人、国分地区20人、牧園地区7人が所属し、

常に行っている運動は、無理なく、楽しくできるものを取り入れていきます。テレビ体操でおなじみの「みんなの体操」で体をほぐし、多くの方に親しまれている音楽に合わせて「タオル体操」や「指体操」も行います。楽しいゲームの紹介では、明るく元気な笑い声が響き、運動を実践するだけでなく元気なパワーも分け合っています。

医療講演会

現在は、国分・隼人・牧園地区のみの活動ですが、今後は全地区で運動普及推進員を養成し、市全体に活動を広げる予定です。
「リウマチ治療の最前線」
・演題「リウマチ治療の現状」
・演者 リウマチ・内科クリニックス院長 泉原智磨先生
・演題「リウマチ脚(股・膝・足)のリハビリ・手術治療と骨粗鬆症」中川整形外科医院 院長 中川 悟先生
・日時 11月1日(日) 午後2時~4時30分

個別基本健診

平成18年度から、71歳以上の方の基本健康診査については、霧島市内の個別基本健康診査委託協力病院で6月から7月にかけて実施しました。都合により受診できなかった方は、10月2日から11月10日まで同じく委託協力病院で受診できます。
◎問い合わせ先 健康増進課 健康増進係 ☎(64) 0905

犬・ねこの飼い方について

- 犬やねこは終生飼養が基本です。愛情をもって飼いましょ。
●ペットの糞の処理は、飼い主の責任です。
●夜間の放し飼いや、他の方に迷惑にならないよう飼いましょ。
●飼えなくなった場合は、責任を持って新しい飼い主を探しましょ。

- 動物の譲渡・販売には保健所への登録が必要になりました。(平成18年6月1日から)
【許可が必要な業種】
●販売業 動物の譲渡・販売
●保管業 ペットホテル・ペット美容・ペットシッター
●貸出業 ペットレンタル(タレント・繁殖目的等)
●訓練業 動物の訓練・調教・出張訓練
●展示業 動物ふれあいパーク・乗馬施設・動物園等
●平成18年10月1日から、犬・ねこの引取は有料となります。

- 犬の登録手数料 3,000円
●犬の登録手数料 3,000円
●狂犬病予防注射手数料 3,000円
●犬が亡くなった場合、死亡届を提出する必要があります。
●犬や飼い主の住所が変わったり、飼い主が変わった場合も、届出が必要です。
●犬の鑑札や注射済票は、犬に付けましょ。犬が逃げ出した場合、速やかに飼い主の方に連絡をすることが出来ます。
●犬の鑑札や注射済票を紛失した場合、再交付を行いますので届出が必要です。
●鑑札の再交付手数料 1,600円
●注射済票の再交付手数料 3,400円

犬の鑑札の差し替えについて

●旧1市6町で交付された犬の鑑札について、霧島市の鑑札に差し替える作業を行っています。本庁および各総合支所に発送しています。既に犬が亡くなっていたり、住所や飼い主などが変更になっている場合はご連絡ください。
◎問い合わせ先 環境衛生課生活環境政策係 ☎(64) 0950
または各総合支所環境衛生係

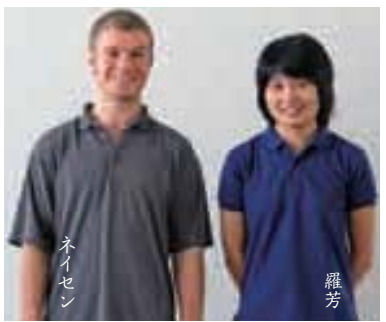
災害に関する市税・介護保険料の減免について

火災、震災、水害、台風などの災害にあわれた場合、被災時以降の納期分の市税、国民健康保険税、固定資産税、都市計画税および介護保険料について減免制度があります。
【市民税・国民健康保険税・介護保険料の減免】
納税義務者が災害で死亡した場合。または障害者となった場合。または自己所有(配偶者および扶養親族所有分を含む)の住宅や家財について、災害により受けた損害の金額(保険金、損害賠償金など)によって、補てんされる金額を除く)が全体の10分の3以上で、合計所得金額が1,000万円以下の方が対象となります。
また、翌年度の申告において、雑損控除の対象となる場合があります。
農作物の減収による損失額が前年中の収入額の10分の3以上で、前年中の合計所得額が1,000万円以下でも減免となる場合があります。

ほかに一定の要件を満たす必要があり、詳細についてはお問い合わせください。
【固定資産税・都市計画税の減免】
所有する固定資産(土地・家屋・償却)に使用するうえでの支障が生じ、それぞれの資産の被害規模が10分の2以上である場合に対象となります。
被災の程度に応じて減免される割合が変わり、損害が少ないと減免対象とならない場合もあります。
●対象となる例
・土砂の流出、地すべりなどに

より、田・畑・山林などに被害を受けた。
・風雨・倒木などにより、居住や倉庫の屋根・外壁に被害を受け、雨漏り・吹き込みなどにより日常生活に支障が生じている。
・火災による家屋の全焼・半焼など。
●対象とならない例
・瓦や雨戸が風雨によって飛ばされたり、飛んできた瓦や木の枝で窓ガラスが割れた。
・ボヤで壁紙の一部を焼いた。
【申請の手続き】
減免を申請する場合は、税務課備え付けの申請書に、り災証明を添付して、災害発生後60日以内に提出してください。
り災証明については、火災の場合は中央消防署、北消防署または各分遣所、火災以外の場合は総務課総務防災係、または各総合支所総務課の管理防災係で発行いたします。
なお、建物損害保険などの対象の被害であっても、必ずしも税金の減免が適用されるとは限りませんのでご注意ください。
◎問い合わせ先 税務課市民税係・固定資産税係 ☎(64) 0902
または各総合支所税務課

CIR(国際交流員)紹介



羅芳(中国)
二ハオ(こんにちは)、中国湖南省から参りました。日本

と、日本人にすぐ興味を持っています。皆さんも中国に興味を持ちましょ。ぜひ私に声をかけてください。シエシエ!
ネイセン・ポール・アペル(アメリカ)
こんにちはアメリカの西海岸にあるカリフォルニア州から参りました。ロサンゼルス郡出身です。二年間、霧島町役場に勤めました。最後の一年間、がんばっていい思い出をいっぱい作りたいです。よろしくお願ひします。
ALT(外国語指導助手)紹介



ロビン キング(アメリカ)
ハロー。アメリカのウィスコンシンから来ました。霧島市の人はとてもフレンドリーで温かい人たちがばかりです。ここに来てまだ2週間ですが、大好きになりました。私を街で見かけたら、声をかけてください。よろしくお願ひします。
アンドレア リヴジイ(イギリス)
こんにちは、8月に日本に来てからとても楽しく過ごしています。9月から学校へ行き多くの人に会えることを楽しみにしています。

キャロリン ウェンゲ(カナダ)
こんにちは、カナダのバンクーバーから来ました。私の趣味はスノーボードとスケートです。霧島市にこれとてもうれいのです。学校で子どもたちに会えるのがとても楽しみです。
ジョナサン クオ(カナダ)
皆さんこんにちは、カナダのバンクーバー出身です。8月に福山に来ました。私は、バレーボールとハイキングが好きです。日本のお祭りに興味があります。日本語と日本のことを教えてください。

# 金を掘り 川を掘る

【其の一】

「時によりすぐれば民のなげきなり  
八大竜王雨やめたまえ」  
（はちだいりゅうおうあめ）

これは鎌倉幕府を開いた源頼朝の息子、三代将軍源実朝の和歌。

「八大竜王」とは、仏教思想で考えられた八頭の竜のことです。

今年の梅雨は七月末まで続きました。わが鹿児島県でも、宮之城・大口・吉松などの町は川内川が溢れ、大洪水の被害に遭いました。

実朝の生きた鎌倉時代からおよそ八百年経った現在でも、このように大雨による災害は絶えることがありません。

しかしながら、人々もあきらめていません。いつの時代も治水対策はその地域を治める者の重要な課題でした。

私たちの郷土には、忘れてはならない治水対策の歴史があります。その一つ、「新川掘り」あるいは「新川川筋直し」と呼ばれる河川改修についてお話ししてみよう。

京セラホテル近くの参宮橋から下流を、地元の人「新川」と呼んできました。

新川とはその名のとおりの人工的に新しく作られた川の意味です。

元禄十一年（一六九八）に模写された国分城下の古地図には野

口辺りから大きく曲がりくねって流れる川の様子が描かれてい

ます。川は現在の国分シビックセンターから舞鶴中学校付近を

通り、東南に向かい湊・下井へかけて流れていたようです。その付近を

広瀬川と言っており、今も広瀬の地名が残っています。

府中・松木・福島・湊の小字を見ていくと、○川原、○古川、水流、中島など

の川や岸辺、中州に関係のある地名が固まって見られます。これに色を塗って

けば、元の川の流れを推定することができます。また、集落は当時の河川に沿って点在しており、航空写真で見ればこれ

が目で分ります。

この蛇行した川は大雨が降ると氾濫をくり返し、田畑を水浸しにしたり、人家を押し流したりして、人々を苦しめました。

そこで考えられたのが、氾濫をくりかえす元凶の蛇行した川をせき止め、新たにまっすぐな川を掘り、川水を海に流す方法でした。その経緯を「島津国史」が次のように記録しています。

「藩主光久が江戸に出る途中、国分に立ち寄った。その時、殿様は村人に困っ

ていることはないか尋ねられた。村人は口をそろえて、毎年春と夏の境目に大津

川が氾濫し、田畑は水没、家は壊され、困っていますと答えた。そこで光久は川

水を引きなおし、南下させて大野原（現在の野口）を通す方法を考え、国分街頭

を通して、家老島津久通に伝えさせた。そこで溝を掘り、堤防を築いて、大津川

を大野原へ通し導いた。工事は四年かかって完成した。水は流れを変え、南下して住吉村に来て海に入った。水の害が

なくなった。新川と名前を付けた。」

家老島津久通の系図（宮之城町郷土史）には、久通が新川改修の責任者に命じられたこと、川筋治しでできた田んぼが五千余石になったこと、また、久通は自ら

「新河始末之記」を杉板に書いて、小村（現在の広瀬）の福庵寺に懸けたということが書かれています。もしこの始末記が残っていたら、新川掘りの工事の様子が詳しくわかったと思うと残念です。

川筋直しはどのような方法で行なわれたのか。次号は、これまでわかっていたいなかった川筋直しの詳しい工法について考えてみたいと思います。

文責 藤



国分古地図



## 心臓CT

M E D I C A L L E C T U R E

# やさしい医療講座

霧島市立医師会医療センター  
循環器科医長／寺師利彦



## 狭心症・心筋梗塞のCTによる診断

心臓は拡張と収縮を繰り返して、血液を全身に送り届けるポンプの役割を果たしています。心臓に血液（栄養、酸素）を供給するための血管が心臓を包むように分布しており、これを冠動脈（冠状動脈）といいます。狭心症はこの冠動脈が動脈硬化や血管のけいれんによって狭くなり、心臓が十分に働くための血液が流れず、心臓が酸素不足・栄養不足になって胸の痛みや圧迫感が起こる病気です。さらに、冠動脈の一部が血液の固まり（血栓）などによって詰まってしまうと、心臓の筋肉が障害を受け、その部分が動かなくなり、ひどい胸痛や、場合によってはそのまま意識をなくしてしまいます。これが、急性心筋梗塞という病気です。現在でも約3割の患者さんが病院到着前に命を落とし、また病院に搬入されても1割弱の患者さんが助からない、重い病気です。

### 体に負担を与えないCT

狭心症や心筋梗塞が疑われた場合、心電図や心臓超音波検査などをしますが、最終的には心臓カテーテル検査とよばれる検査が必要になります。心臓カテーテル検査とは、足の付け根・手首・肘などの血管（動脈）からカテーテルとよばれる直径2mm前後の細い管を入れ、造影

剤を使って冠動脈を写し出す検査です。現在は検査の技術や器具が進化し、かなり安全に行える検査になりました。しかしながら、数日間の入院が必要で、また頻度的には非常に少ないですが、検査によって血管損傷や脳梗塞などの非常に重い合併症を生じる危険性があります。経験された方もおられると思いますが、検査室の狭い台に乗せられ、体の中に（ましてや心臓に）管を入れられるというのは、考えただけでも非常に恐いものです。これまで心臓の血管を詳しく検査するためには、この心臓カテーテル検査しかありませんでした。ところが近年、CT（コンピュータ断層撮影法）の進歩によって、体にはほとんど負担を与えることなく、心臓の血管の状態がわかるようになってきました。

CTといえば、脳・肺・腹部の臓器などを調べるために非常に有用な検査ですが、心臓の血管を写し出すことはできませんでした。これが、最も新しいCT装置では、かなり正確に判断できるようになってきました。下の写真を参照ください。心臓の表面を走る冠動脈がきれいに写し出されています。この検査では、通常の点滴と同じように、静脈に造影剤を注入し、あとは数秒間の息止めをしてもらうだけで短時間で撮影が終了します。もちろん入院は必要なく外来でできる検査です。

現在は食事の欧米化や日常の運動不足などによって、動脈硬化の頻度が増加し

ています。テレビや新聞などで、メタボリック症候群という言葉を目にした方も多いかと思いますが、これは、腹部肥満（ウエストが男性85cm・女性90cm以上）に高血圧・高脂血症・糖尿病がからむと、心筋梗塞や脳梗塞などの発生率が何倍も高くなるというデータが多くみられ、大きな注目をあびているものです。何の病気であっても、早期発見・早期治療が大切であることは言うまでもありません。

霧島市立医師会医療センターにも近いうちにこの新しいCT装置が導入される予定です。何か最近、胸の調子がおかしいと感じている方（特に、坂道を上った重いものを持ち上げたりした時に胸の痛みや圧迫感が出現する方）や、高血圧・高脂血症・糖尿病などの持病をお持ちで心臓病を心配されている方は、早期発見のために早めの受診を心がけてください。



CT（コンピュータ断層撮影法）によって撮影された心臓

**お知らせ**

**霧島市福祉手当を支給**

重度心身障害児、重度心身障害者と災害遺児の福祉増進を目的として、霧島市福祉手当が支給されます。支給資格のある方は、各総合支所福祉課で申請してください。ただし、平成17年度に旧国分市で本手当てを受給された方は、申請の必要はありません。

- ・受給資格者Ⅱ平成18年10月1日現在、霧島市に継続して1年以上住所があり、次のいずれかに該当する方。
  - ①身体障害者手帳1級または2級を所持する者
  - ②療育手帳A、A1、A2を所持する者
  - ③身体障害者手帳3級と療育手帳B1をあわせて所持する者
  - ④不慮の災害のために父母の両方もしくは一方が死亡した義務教育終了前の者。ただし、父または母が婚姻関係(事実上の婚姻を含む)に至った者は除く。
- ・申請に必要なものⅡ申請する方の印鑑、身体障害者手帳または療育手帳本人名義の通帳(郵便局を除く)
- ・手当の額Ⅱ年額10,000円

円(ただし、10月1日現在で手帳の交付を受けてから6か月未満の方は5,000円)
   
・申請受付期間Ⅱ10月2日(月)～13日(金)
   
※期間厳守

**自主文化事業に青少年ら市民を招待**

企業と行政、企業と地域、さらには企業と市民が一体となった活気あふれる文化の薫り高いまちづくりに貢献したいと市内外の企業と個人から霧島市の自主文化事業、7月の「レイモン・ルフェーヴルグランドオーケストラ」の演奏会に中学校・高等学校で音楽活動をしている生徒200人を、8月の「THE WINDS OF GOD」舞台公演にも青少年を含め市民(400人)を招待されました。

協賛いただいた企業は次のとおりです。ありがとうございます。
   
●(株)ナンニチ、国分電機(株)、マインクカット(株)、ナンニチホーム、鎌田建設(株)、鎌田工業、(株)テクノクロス九州、国分電機大和(株)、タケシタ調剤薬局、数奇の宿野鶴亭、イエローハット国分店・東郡元店、国分中央観光(株)、ウエブキャスト(株)、森聖子、竹下圭一郎

障害福祉課介護保険係 ☎(4)0995
   
自主文化事業に青少年ら市民を招待
   
企業と行政、企業と地域、さらには企業と市民が一体となった活気あふれる文化の薫り高いまちづくりに貢献したいと市内外の企業と個人から霧島市の自主文化事業、7月の「レイモン・ルフェーヴルグランドオーケストラ」の演奏会に中学校・高等学校で音楽活動をしている生徒200人を、8月の「THE WINDS OF GOD」舞台公演にも青少年を含め市民(400人)を招待されました。

名が「霧島警察署」に変わります。管轄区域については、加治木警察署の管轄であった旧溝辺町の区域が新たに管轄になります。なお、旧横川町と旧牧園町は、現行のまま横川警察署が管轄します。
   
●運転免許の更新に関すること
   
①更新窓口(詳細は更新連絡書を確認してください)
   
・国分、霧島、溝辺、隼人、福山区Ⅱ霧島署・交通安全教育センター
   
・横川、牧園地区Ⅱ横川署・交通安全教育センター
   
※優良運転者は、鹿児島市内三警察署を除く県内の全ての警察署で申請できます。
   
②9月30日以前に申請された方は、申請した警察署で講習免許証の交付となります。
   
●各種許可(車庫証明、道路使用許可、古物、風俗営業許可、銃砲刀剣類所持等)に関すること
   
①10月1日以降の新規申請等については、新管轄の警察署で手続きをしてください。
   
②変更日(10/1)の間際に申請された方は、交付の警察署が異なる場合もありますので、申請時に窓口で確認してください。
   
③旧管轄の警察署から交付された



霧島市内で地域密着型サービス(夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護)の提供を始めることを検討している事業者予定者は、次の日程で説明会を開催しますのでご参加ください。
   
・日時Ⅱ9月28日(木)午後2時～4時
   
・場所Ⅱ国分総合福祉センター3階大会議室
   
・内容Ⅱ霧島市の整備計画および指定申請手順等について
   
・対象Ⅱ霧島市内で平成19年度から20年度までに地域密着型サービスの提供を始めることを検討している事業者予定者
   
・申込締め切りⅡ9月25日(月)
   
※参加者は1法人2人まで
   
◎申込・問い合わせ先Ⅱ高齢・

国分警察署が霧島警察署へ管轄区域も変更
   
10月1日から国分警察署の署

ている書類等については、管轄区域変更後も有効ですので、手続きの必要はありません。
   
●相談・要望などに関すること
   
①10月1日以降は、新管轄の警察署にご相談ください。
   
②継続中の相談については、新警察署が引き継いで担当することとなります。
   
●事件・事故の届出に関すること
   
①10月1日以降に発生した事件、事故の対応は、新管轄の警察署が担当いたします。
   
②緊急の事件、事故等の場合は、110番をしてください。
   
◎問い合わせ先Ⅱ国分警察署 ☎(47)2110

事業所・企業統計調査
   
活力ある地域づくりのために
   
10月1日、平成18年事業所・企業統計調査が全国一斉に行われます。(すべての事業所および企業が調査対象になります)
   
調査結果は、これからの行政あるいは各種研究用として、非常に重要な基礎資料となっており、私たちの身の回りで幅広く利用されます。9月下旬から事業所や企業に調査員がお伺いし、調査票をお届けいたします。
   
なお、調査票を配布・回収する調査員は、「調査員証」を携行していますので、安心してご協力をお願いいたします。
   
◎問い合わせ先Ⅱ情報政策課 計係 ☎(64)0933

**募集**

10月1日、平成18年事業所・企業統計調査が全国一斉に行われます。(すべての事業所および企業が調査対象になります)
   
調査結果は、これからの行政あるいは各種研究用として、非常に重要な基礎資料となっており、私たちの身の回りで幅広く利用されます。9月下旬から事業所や企業に調査員がお伺いし、調査票をお届けいたします。
   
なお、調査票を配布・回収する調査員は、「調査員証」を携行していますので、安心してご協力をお願いいたします。
   
◎問い合わせ先Ⅱ情報政策課 計係 ☎(64)0933

**第3回「霧島・食の文化祭」スタッフ募集!**

「子や孫に残したい霧島の食は何ですか」をテーマに、霧島の食文化と暮らしの深い結びつきを家庭料理大集合や伝統的な行事食の展示、手作りの郷土菓子の試食などで学ぶ、第3回「霧島・食の文化祭」を開催します。その際、運営のお手伝いをいただくスタッフを募集しています。
   
・日時Ⅱ11月19日(日)午前10時～午後3時
   
・場所Ⅱ霧島保健福祉センター
   
◎問い合わせ先ⅡNPO法人霧

**第3回市内史跡めぐり「ざりしま歴史散歩」参加者募集!**

今回のテーマは「近代化遺産めぐり」です。
   
・日時Ⅱ9月23日(土)午前9時～正午※小雨決行
   
・集合場所Ⅱ国分シビックセンター1市民広場
   
・集合時間Ⅱ午前8時50分
   
・対象者Ⅱ小学生以上
   
・定員Ⅱ40人(先着順)
   
・参加費Ⅱ100円(資料代・保険料)
   
・見学場所Ⅱ嘉例川駅、大隅横川駅、池田家住宅主屋・石倉、森山家住宅石倉他
   
・申込期間Ⅱ9月12日(火)～9月20日(水)
   
※定員になり次第締め切ります。
   
◎申込・問い合わせ先Ⅱ文化振興課文化財係 ☎(64)0990

**女性相談**

自分らしく生きるって?夫・パートナーからの暴力。家族、子育て、友人、職場、学校、地域のことで悩んでいませんか?
   
相談日Ⅱ9月26日(火)午後

**女性のための無料相談**

1時30分～4時30分
   
・相談員Ⅱ2人(女性相談員)
   
・相談方法Ⅱ電話相談(面接可)
   
・相談先Ⅱ電話 ☎(42)1111
   
1女性相談室へお電話ください。
   
◎問い合わせ先Ⅱ単人総合支所 総務課地域振興係 ☎内線5015

**相談**

女性相談
   
(毎月第4火曜日開設)

女性相談
   
(毎月第4火曜日開設)

女性相談
   
(毎月第4火曜日開設)

女性相談
   
(毎月第4火曜日開設)

女性相談
   
(毎月第4火曜日開設)

**講座**

いきいき国分交流センター
   
健康づくり講座
   
楽しいリズム体操
   
音楽に合わせて歩くレベルの

いきいき国分交流センター
   
健康づくり講座
   
楽しいリズム体操
   
音楽に合わせて歩くレベルの

いきいき国分交流センター
   
健康づくり講座
   
楽しいリズム体操
   
音楽に合わせて歩くレベルの

いきいき国分交流センター
   
健康づくり講座
   
楽しいリズム体操
   
音楽に合わせて歩くレベルの

いきいき国分交流センター
   
健康づくり講座
   
楽しいリズム体操
   
音楽に合わせて歩くレベルの

8 9 9 - 4 3 9 4

お手数ですが  
50円切手をお貼りください

霧島市役所  
広報広聴課 行  
(No.18/2006.9)

◎ご氏名  
フリガナ \_\_\_\_\_

年齢 / \_\_\_\_\_ 歳 性別 / \_\_\_\_\_ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル \_\_\_\_\_

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□ \_\_\_\_\_

電話 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)



Readers Voice

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお声を寄せてください。



Community

**8** 月号の読者の声で「障害を持つ」を読んで、サッチャーの教えを思い出した。サッチャーとは「てつ・の・カーテン」ことイギリスの女性首相のことです。当時イギリスも「バブル」が弾けても国民が路頭に迷わずにわずか3年で景気が回復したのは、手仕事、つまり、職人の国だったからだ。サッチャーは胸を張って言い切った。若者よ、手仕事に目覚めてください。私の同級生の親は（傘と靴）の修理だけで子ども二人を大学まで出してくれました。（滝アマ・ガエル71歳男性）

このごろは職人ということばを聞かなくなりましたが、だいぶ少なくなっているようです。職人と言えばこだわりを持った頑固なイメージがあります。このこだわりにはすばらしいものがあり、全てを受け継ぐ多くの職人が育ってほしいと思います。

**×** デイアセンターで行われたなつかしの映画は石原裕次郎特集でした。映画が始まると歓声が上がリ、終わると拍手まで出ていました。帰り道「俺は待ってるぜ」を口ずさみ、両手をポケットに突っ込み、肩をすぼめ、少し足を引きずって歩く自分がいました。（カッコいい歩き方です）また、この会場で20数年ぶりに知人との再会もありました。な

つかしの映画鑑賞がありとう。DSちなみに観客は60〜70代の昔の若い男女でした。（霧島のタフガイ60歳男性）

なつかしの映画を鑑賞できてよかったですね。青春時代の思い出は、忘れることのない永遠の思い出です。20数年ぶりに知人と再会され本当にうれしかったです。昔の若い男女、まだまだ若いですよ。

**暑** 中お見舞い申し上げます。広報きりしまを心待ちにして拝見させていただいております。本日、偶然ふきのとうに立ち寄り、ブルーベリージュースを飲み、そのおいしさ

に心と体が潤ってさわやかでした。家に帰り着くとその記事があり、手作りジャムの作り方で載っていました。加工グループのメンバーの方々にお礼を言いたいと思いを執りました。美しい表紙や記事などいろいろな情報をくださるので興味深いです。ありがとうございます。（バーバラ・ハート51歳女性）

霧島農産加工グループ「ふきのとう」の方々が地元で採れたものを生かした加工品づくりに長い間取り組まれた甲斐あって、おいしいと喜ばれています。これからも楽しくがんばってください。

**こ** んには、毎号、広報誌を読んでる者です。霧島市。とても広範囲になって、この町に住んで14年になります。郷土料理、地名の由来。ひよっとしたら、この地に生まれ育った我が家の平成生まれの3人の子どものほうが知っていることが多いと思います。これからは「霧島」が届くのを楽しみにしています。（こい40歳女性）

広報きりしまを愛読くださ

いましてありがとうございます。おっしゃるとおり私たちも知らないことが多いです。今後でもできるだけ多くの情報をお届けします。

**今** 回お手紙を出したのは、表紙の写真が下井海岸だということ！！！！パッと見て、日南海岸か？と思うほどの美しさ。びっくりさせられました。カメラマンの腕がいいのか、カメラがいいのか。身近にありすぎて下井海岸の美しさに気が付かなかっただけなのか。本当に本当にびっくりしたので、切り取って県外に行っている友だちに送ってしまいました。広報きりしまを作られているスタッフの皆さん、これからも応援してまいります。頑張ってください。（竹の子ニヨッキキッ28歳女性）

本当に身近なものの美しさに気付かないことが多いと思います。県外観光客などからすばらしいですねと言われ、「やっぱりそうなんだ」と思ったり。表紙の上旬号の写真は、市民の方々が見慣れている風景で、季節や時間帯で美しく見える写真をコンセプトにしています。応

援ありがとうございます。

**こ** の町が、この山々が大好きだから終の住み処にしたい。主人は54歳、私が50歳のとき、今年還暦を迎えた団塊世代の人間です。6年前のこと、他県に住み職場を持ち九州一円を仕事にしていた主人がこの霧島を選んだ理由は、水がおいしい、空気がおいしい、空も美しい。「年老いてから、移り住むより、一年でも早く、そして働いて、少しでも町に貢献できる年齢に行こう」と主人の考えからこの町に仲間入りをさせていただきました。今ではどっぷり鹿児島県人として楽しんでいきます。（風56歳女性）

市でも団塊世代のために、J・Uターン者への支援策を検討中です。霧島市が活性化するために、これまで培われた団塊世代の皆さんの経験と技術が必要ですね。お2人の力を市政発展のために貸してください。

**霧** 島市に住むようになり11年が経とうとしています。妊娠中にこちらへ移り住み、無事に娘を出産しました。娘ものどかな環境の中、すくす

く育っています。近所の方も子どもが好きの方が多くとても親切です。霧島はとてもよい土地だと思っています。（ゆめママ24歳女性）

娘さんも健やかに育ち、近所の方も親切でよかったですね。時間があつたら市内めぐりでもどうでしょうか。楽しいこと、感動することがいっぱいありますよ。

**最** 近、子どものマナーが悪いとよく耳にしますが、大人の悪さも目に付きます。家の近くに川があるので、先日、近くに来ていた業者の方が川にゴミを投げ捨てたので注意をしました。でも別に悪いことをしたという顔もしておらず、すぐシヨックでした。子どもの前に大人が変わらなければいけないし、子どものお手本になるように、頑張らなければいけないと痛感しました。（ミヤママ35歳女性）

せっかく注意したのに本当に残念ですね。同じ経験したことがあります。大人のマナーが悪いから子どももまねをするんですね。ミヤママみたいに思っ

てくれる人がいることが大事だと思います。ともに頑張りましょう。

**霧** 島市立図書館は、きれいで落ち着いて本が読めるので子ども共々よく利用しています。ちょっと残念なことは自分の借りた本がないことが多く話題の本は常に貸し出し中であることです。蔵書を増やして、利用者のかゆいところに手が届く図書館になってほしいなと思います。（T・I 44歳女性）

いつも図書館を利用していた皆さまありがとうございます。図書館を運営する上で、皆様のご期待に添えないところもあると思いますが、皆様が気持ちよく喜んでいただける図書館づくりに努めてまいりますので、今後ともご意見をお寄せください。

このほか、19通のお便りがありました。ありがとうございます。プレゼントは10人の方に配送しました。

※ハガキには住所・氏名・年齢などを必ずお書きください。また、お手紙を必ずお書きください。よろしくお願いいたします。

# 神が降りた町

◎松橋 正彦



姪児(ひるご)神社は松橋さんが好きな場所の一つ

朝の目覚め、ふとんの中でじっと目を閉じ、耳を澄ませばいろいろな鳥のさえずりが聞こえてくる、何んとも心地良いことか「鹿児島に来て良かったな」と感ずる一瞬だ。幼少のころから忽々とした都会で暮らしていたせいか、あるいは老いたせいかもしれない、特に安堵す

る朝のひと時だ。東京は大田区雪谷の東急、歌にも歌われた『池上線』雪谷大塚駅の裏側に住んでおりました。朝は始発のベルで目を覚まし、電車の動く音で慌しい一日が始まります。隣の町は、田園調布、ひと際目立つ有名な邸宅や高級住宅でいっぱいだ、休日には

妻と自転車で住宅めぐりをしていました。東京の中でもここは、比較的閑静なところで日中はあまり人通りがない、我々のようなやっかみ屋(関東地方の方言で『ねたむ』の意)あるいは、野次馬か暇人くらいが通るだけ、そばに宝来公園があり、母なる川、多摩川が眼下を覆う、そして多摩川に沿う街々が絶景だ。下流に沿っていくと、巨人軍のグラウンドが見え、その向うに小さな松林があり、野鳥の音が聞こえてくる。しかし、雑踏の中で聞くのでは感じ方がまるで違う。

私は鹿児島の単人にやって来て12年目になります。東京にいたときの「鹿児島のイメージは、西郷隆盛のような大男がウヨウヨしているのかな」とか、「今にも爆発しそうなの桜島、小島がやたらと多く、温泉も豊富、災害、特に台風や大雨に遭う」と良いことや悪いことが錯綜してありました。しかし、最初の壁は、言葉

でした。ことに生前の義父の話には閉口した、妻が常に通訳者になる、ただ、会話をしている中でなんとなく話を通ずるものだ。昨年、平成の大合併の中、一市六町の合併により、鹿児島県では、人口、広さ共に第2位の霧島市が誕生しました。これほどすばらしい霧島山系、風光明媚で正に悠々閑々としている。温泉もあり、食べ物も森や山の恵み、海や川の恵みがあふれている。「灯台、下暗し」ということわざがあります。これはあまりにも身近すぎて、気付かないことか分かりがたいといった意味ですが、毎日暮らしている中で常に人や動物や自然は変化している空気のような存在だから、気付かない、いつも見慣れている山々なのにただ漠然と見ていたのではないか、霧島市には、こんな深い歴史があったことを私たちは認識しながら見てきたのでしょうか。


### Profile



まつばし まさひこ (61) / (単人在住) 1945年千葉県生まれ、1967年国立音楽大学卒業。1972年脚本の勉強始める。1974年テレビの青春ドラマの台本を書く。1978年刑事ドラマの脚本仲間になり1984年まで手がけた。1985年思うことあってサラリーマンとなる。2006年から少し何かを書きたいと思っている。現在、単人地区地域審議会委員。

天孫降臨御神火祭や五穀豊穰、家内安全を祈願する初午祭等たくさんあります。神話の息づくまち霧島は、四季折々さまざまな雰囲気を見せてくれます。数多くの滝や透き通ったおいしい湧き水、心行くまで癒してくれる温泉や秘湯、雄大な自然に育まれて私たちはこれからも霧島と共に生きていきます。霧島市の良さを誰よりも感じながら…。

今夕刻、目を閉じて耳を澄ませば、か細い虫の鳴く音が聞こえます、もう秋なんですね。



## おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの身近な出来事、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださった方の中から壺づくり黒酢を13人の方にプレゼント。応募締切は9月19日(火)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

## PRESENTS

### 鹿児島県天然つぼづくり米酢協議会の壺づくり黒酢をプレゼントします。



南国のゆたかな太陽エネルギーの力で発酵が進み、長い期間をかけて大事に育てられたものです。まろやかでコクのある風味は、良質の原料米から生まれる豊富なアミノ酸、有機酸などによるもので、長期間の熟成により、さらに味わいの深いものとなります。

◎問い合わせ先  
鹿児島県天然つぼづくり米酢協議会事務局  
☎ 099 (258) 1777

## 災害義援金のお礼

ご協力ありがとうございました。

鹿児島県北部豪雨災害義援金の受付を、8月25日で締め切りました。本庁、各総合支所、市民プール、市立医師会医療センターなど10か所に設置した義援金の総額は182,198円に達しました。お寄せいただいた義援金は、鹿児島県を通じて配分し、被災者の方々に役立てていただきます。皆さまの温かいご協力に深く感謝し、お礼申し上げます。

### 市長コラム 前田終止

#### 危機管理と行政

7月下旬の豪雨の際、避難された市民の皆さんへの食事提供のあり方についての報道で、不快な思いをされた皆さんに、深くお詫言を申し上げます。県下で最も早く危機管理監を登用し、合併後の防災会議も開催して、万全を期して対応したつもりでした。現在市では地域防災計画を作成中ですが、結果として避難された方への食事の提供のあり方についてご指摘を受けたところです。

市長としては、今後のために8月31日に緊急の市防災会議を開催し、この度の災害対応等を検証し、問題点や対策を明らかにします。また、市民の皆さんのご指摘やご提言など、今後の風水害対策に活かし、市の防災計画にも反映させたいと考えています。

私が行政を運営している中で気をつけていることは、市民の皆さんの満足度を追及し、市民の皆さんの視点に立った改革を行っていくことです。行政サービスは、市役所が一方的に押し付けるのではなく、市民の皆さんと協議しながら決めていきたいと考えています。合せて2回となる11月の「市長と語りもんそだは、皆さんの声を羅針盤にしよう」と考えたわけです。